

歯 科 健 康 診 査

表1 年度別受診者数

区 分	受 診 者			受診団体
	総 数	男	女	
27年度	11 189 ^{*)}	8 355	2 834	18
26年度	10 437	7 901	2 536	17
25年度	11 376	8 881	2 495	17

*) 独自方式で実施の2420名含む

表2 歯周病検査（CPI）結果—歯周組織の状態について

区 分	受診者	0：健全		1：歯肉炎あり		2：歯肉炎+歯石あり		3：歯周炎あり		4：進行した歯周炎あり		記入無し		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総 数	男	6 893	2 043	29.6	1 527	22.2	3 154	45.8	158	2.3	10	0.1	1	0.0
	女	1 876	878	46.8	396	21.1	583	31.1	18	1.0	0	-	1	0.1
	計	8 769	2 921	33.3	1 923	21.9	3 737	42.6	176	2.0	10	0.1	2	0.0
～29歳	男	2 949	876	29.7	643	21.8	1 378	46.7	51	1.7	1	0.0	0	-
	女	989	451	45.6	210	21.2	321	32.5	7	0.7	0	-	0	-
	計	3 938	1 327	33.7	853	21.7	1 699	43.1	58	1.5	1	0.0	0	-
30～39歳	男	3 348	984	29.4	741	22.1	1 541	46.0	79	2.4	3	0.0	0	-
	女	742	353	47.6	156	21.0	224	30.2	9	1.2	0	-	0	-
	計	4 090	1 337	32.7	897	21.9	1 765	43.2	88	2.2	3	0.1	0	-
40～49歳	男	369	128	34.7	95	25.7	134	36.3	10	2.7	2	0.5	0	-
	女	104	57	54.8	21	20.2	26	25.0	0	-	0	-	0	-
	計	473	185	39.1	116	24.5	160	33.8	10	2.1	2	0.4	0	-
50～59歳	男	208	52	25.0	40	19.2	97	46.6	16	7.7	2	1.0	1	0.5
	女	35	15	42.9	6	17.1	12	34.3	2	5.7	0	-	0	-
	計	243	67	27.6	46	18.9	109	44.9	18	7.4	2	0.8	1	0.4
60歳～	男	19	3	15.8	8	42.1	4	21.1	2	10.5	2	10.5	0	-
	女	6	2	33.3	3	50.0	0	-	0	-	0	-	1	16.7
	計	25	5	20.0	11	44.0	4	16.0	2	8.0	2	8.0	1	4.0

CPI：Community Periodontal Index

表3 口腔診査結果—歯の状態について

区 分	受診者	要治療歯のある人		1本		2本		3本		4本		5本以上		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総 数	男	6 893	2 446	35.5	1 120	16.2	578	8.4	274	4.0	154	2.2	320	4.7
	女	1 876	457	24.4	254	13.5	98	5.2	39	2.1	28	1.5	38	2.0
	計	8 769	2 903	33.1	1 374	15.7	676	7.7	313	3.6	182	2.0	358	4.1

表4 総合評価

区 分	受診者数	A：異常なし		B：要注意		C：要予防処置		D：要検査		E：要治療		F：治療中		G：その他		判定なし		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総 数	男	6 893	1 104	16.0	1 233	17.9	1 872	27.2	70	1.0	2 091	30.3	522	7.6	1	0.0	0	-
	女	1 876	473	25.2	459	24.5	395	21.1	14	0.7	347	18.5	188	10.0	0	-	0	-
	計	8 769	1 577	18.0	1 692	19.3	2 267	25.9	84	1.0	2 438	27.8	710	8.1	1	0.0	0	-

表5 歯みがきの状態

区分	受診者数	1:良好		2:ほぼ良い		3:やや不良		4:不良		記入無し		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総数	男	6 893	1 428	20.7	4 062	58.9	1 320	19.1	83	1.2	0	-
	女	1 876	800	42.6	960	51.2	113	6.0	3	0.2	0	-
	計	8 769	2 228	25.4	5 022	57.3	1 433	16.3	86	1.0	0	-

表6 咀嚼力検査

区分	受診者数	0		1		2		3		4		5		未検査		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総数	男	6 893	1	0.0	11	0.2	104	1.5	847	12.3	3 019	43.8	2 742	39.8	169	2.5
	女	1 876	0	-	3	0.2	84	4.5	456	24.3	899	47.9	368	19.6	66	3.5
	計	8 769	1	0.0	14	0.2	188	2.1	1 303	14.9	3 918	44.7	3 110	35.5	235	2.7

※) 1分間噛んだガムの色を数字で表しています
よく噛める人ほど数字が大きくなります

歯周病の知識

歯周病（もしくは歯周疾患）は専門学会にて分類されています。大別すると「歯肉」に限局した病気なのか「歯槽骨」や「歯根膜」に達する（より重度の）病気なのか、ということです。

表 歯周病の分類（抜粋）

1. 歯肉病変
 - 1) プラーク性歯肉炎
 - 2) 非プラーク性歯肉炎
 - 3) 歯肉増殖
2. 歯周炎
 - 1) 慢性歯周炎
 - 2) 侵襲性歯周炎

歯肉炎は比較的軽症で、治療と日常のケア（ブラッシング）で治療することが可能です。歯周病は

骨など歯周組織にまで波及した状態なので、完全に元には戻らず、継続した医学的管理（定期的な歯科受診および専門的なセルフケア）が必要になります。

歯周炎は自然治癒がないのです。歯周炎が見つかったら、それは早期に受診行動をとり、生涯に渡り咬むことができるように（歯を失わないように）管理する必要があります。これは慢性的、いわば生活習慣病なのです。

下に代表的なお口の状態を示します。写真は高血圧治療に用いられるカルシウム拮抗薬の副作用で発症することがある「歯肉増殖症」です。歯茎が増殖して、食事の際に食べ物が当たって痛くて噛めない、という状態です。お口の健康と全身との関連を知ること健康意識を高めて欲しいと思います。



薬物性歯肉増殖症の例

野村典生、菅 武雄、山本 健、新井 高、森戸光彦：
「糖尿病を伴う高血圧症・不整脈患者に発症したニフェジピン性歯肉増殖症の治療経過—術後2年経過の1症例—」
老年歯学、15(1)：58-63、2000.